CATEYE STRADA DOUBLE WIRELESS
CYCLOCOMPUTER CC-RD400DW
日本語

U.S. Pat. Nos. 5236759/6957926 Pat./Design Pat. Pending

CCRD4DW-081030 066600620 2
CE0678

⚠ 警告・注意
- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサー及びブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットに装着した状態で **MODE** を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を押してください。他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めるので使わないでください。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

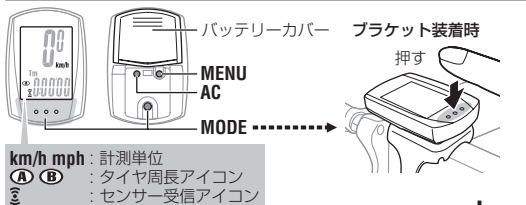
ワイヤレスセンサーについて

センサーの信号は、混信を防ぐため ID コードのほか受信距離を 20 ～ 100 cm の範囲に設計しています。（受信距離はあくまでも目安です）取扱いには次の点にご注意ください。
- 本器の利用には、センサー ID 照合が必要です。
- 本器は 2 つのセンサー ID を登録でき、**ID1** と **ID2** の識別は自動で行います。
- センサーとコンピュータの間隔が離れすぎると受信できません。受信範囲内にあっても、気温低下や電池消耗により受信しにくくなることがあります。

次のような環境では干渉を受け、誤作動する場合があります。
- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内。
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など。
- 他のワイヤレス機器や一部のバッテリーライトと併用している場合。

ご使用の前に必ず本書を最後までお読みください。
お読みになった後はいつでも見られるように大切に保管してください。

コンピュータの準備

km/h mph：計測単位
Ⓐ Ⓑ：タイヤ周長アイコン
：センサー受信アイコン

1 オールクリア（初期化）します
裏面の **AC** ボタンを押します。

2 計測単位を選択します
「**km/h**」または「**mph**」を選択します。

3 タイヤ周長を入力します
自転車のタイヤ外周の長さを mm 単位で入力します。
※ 目安としてタイヤ周長ガイドをご活用ください。

4 センサー ID を照合します
コンピュータをセンサーの近くに置き、センサーの **RESET** を長押しします。画面に ID 番号が表示され、時刻設定へ移動します。

※ ID 照合は、センサーとコンピュータを 20 cm 以上離して行ってください。センサー信号は **RESET** を長押しして、離したときに送信されます。

※ ID 照合は 5 分間待機します。待機中にセンサー信号を受信しなかったり、**MODE** を長押しすると「**ERROR**」を表示して ID 照合を中止します。セットアップは継続できますが計測は行えません。必ずメニュー画面「センサー ID 照合」で ID 照合を行ってください。
※ すでに ID が設定されているときは、ID 照合を中止すると元の ID が適用されます。

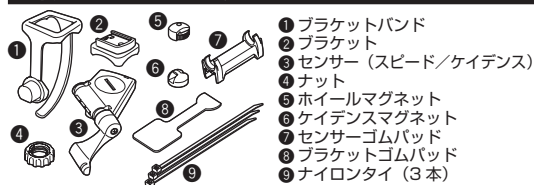
5 時刻を入力します
MODE を長押しするごとに「表示時間」→「時」→「分」の設定に切替ります。

タイヤ周長ガイド

タイヤサイズ	L (mm)
12 x1.75	935
12 x1.95	940
14 x1.50	1020
14 x1.75	1055
16 x1.50	1185
16 x1.75	1195
16 x2.00	1245
16 x1-1/8	1290
16 x1-3/8	1300
17 x1-1/4 (369)	1340
18 x1.50	1340
18 x1.75	1350
20 x1.25	1450
20 x1.35	1460
20 x1.50	1490
20 x1.75	1515
20 x1.95	1565
20 x1-1/8	1545
20 x1-3/8	1615
22 x1-3/8	1770
22 x1-1/2	1785
24 x1 (520)	1753
24 x 3/4 Tubular	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
26 x 7/8 Tubular	1920
26 x 1 (571)	1952
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
26 x 1.0 (559)	1913
26 x 1.25	1950
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	2050
26 x 2.00	2055
26 x 2.1	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083
26 x 3.00	2170
27 x 1 (630)	2145
27 x 1-1/8	2155
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
650 x 20C	1938
650 x 23C	1944
650 x 35A	2090
650 x 38A	2125
650 x 38B	2105
700 x 18C	2070
700 x 19C	2080
700 x 20C	2086
700 x 23C	**2096**
700 x 25C	2105
700 x 28C	2136
700 x 30C	2146
700 x 32C	2155
700C Tubular	2130
700 x 35C	2168
700 x 38C	2180
700 x 40C	2200
700 x 44C	2224
29 x 2.1	2288
29 x 2.3	2326

自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める場合

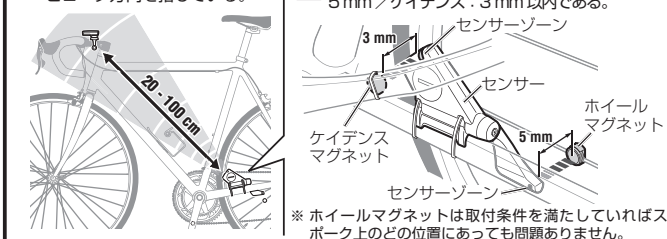
タイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面にペンキ等で印を付けて乗車します。タイヤを 1 回転させ、路面に付いた印の間隔を測ります。目安として周長ガイドを活用してください。

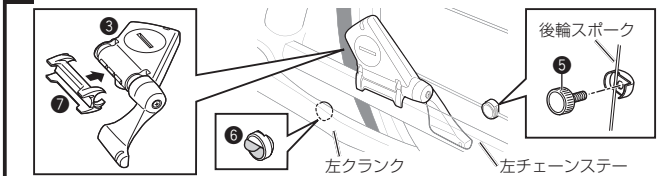
自転車への取付け方法

❶ ブラケットバンド
❷ ブラケット
❸ センサー（スピード／ケイデンス）
❹ ナット
❺ ホイールマグネット
❻ ケイデンスマグネット
❼ センサーゴムパッド
❽ ブラケットゴムパッド
❾ ナイロンタイ（３本）

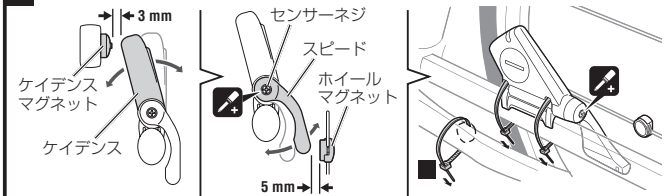
センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に取付けます

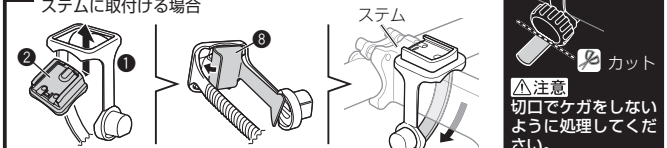
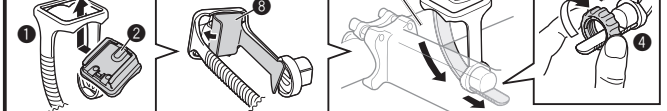
A コンピュータからセンサーまでの距離が必ず送信範囲内にあり、センサーの▲マークがコンピュータ方向を指している。

B マグネットがセンサーのセンサーゾーンに対面している。

C センサー表面と、マグネットの隙間がスピード：5 mm ／ケイデンス：3 mm 以内である。

※ ホイールマグネットは取付条件を満たしていればスポーク上のどの位置にあっても問題ありません。

1 センサー／ホイールマグネット／ケイデンスマグネットを仮止めします

※ センサーと 2 つのマグネットは **B** の条件を満たす位置に仮止めします。
条件を満たせない場合は、センサーを前後方向に移動させ調整してください。

2 マグネットとセンサーの隙間を調節して固定します

※ スピードの調節は、センサーネジを緩めて行います。
調節後はセンサーネジとナイロンタイをしっかりと締付けて固定してください。

3 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます
ステムに取付ける場合

ハンドルバーに取付ける場合
※ 受信感度の都合上、コンピュータが水平になるようにブラケットを取付けてください。

4 コンピュータの着脱

※ エアロ形状のハンドルバーやより太いステムに装着する場合は、ブラケットホルダーとナイロンタイで取付けることができます。（オプション）

※ 取付後、後輪を軽く回して速度が、クランクを回してケイデンス（**C**）が表示することを確認します。
※ センサー ID が照合できていない場合はメニュー画面「センサー ID 照合」で ID 照合を行ってください。

コンピュータの操作 ［計測画面］

- **Tm** 走行時間 0:00'00" - 9:59'59"
- **C** ケイデンス 0(20) - 299 rpm
- **Dst** 走行距離 0.00 - 999.99 km [mile]
- **Dst②** 走行距離 2 0.00 - 999.99 / 1000.0 - 9999.9 km [mile]
- **Av** 平均速度※2 0.0 - 105.9 km/h [0.0 - 65.9 mph]
- **Mx** 最高速度 0.0(4.0) - 105.9 km/h [0.0(3.0) - 65.9 mph]
- **Odo** 積算距離 0.0 - 9999.9 / 10000 - 99999 km [mile]
- 時刻 0:00 - 23:59 または 1:00 - 12:59

MODE ※1

※1 ブラケットに装着している場合、コンピュータのドット部を押します。

※2 平均速度は **Tm**：約 27 時間、または **Dst**：999.99 km を越えると計測値に変わり **.E** を表示します。データのリセットを行ってください。

ペースアロー
走行速度が平均より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

走行速度
0.0(4.0) - 105.9 km /h
[0.0(3.0) - 65.9 mph]

選択データ

計測のスタート・ストップ

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。計測中は **km/h** または **mph** が点滅します。

選択データの切替え

MODE を押すと左図のように計測データが順に切替ります。

データのリセット

Dst-2 以外のデータを表示して、**MODE** を長押しすると、計測データが 0 に戻ります。**Dst-2** を表示して、**MODE** を長押しすると、**Dst-2** だけが 0 に戻ります。
いずれの場合も積算距離はリセットされません。

節電機能

約 10 分間信号が入らないと時刻表示だけの節電モードになります。センサー信号が入ると計測画面に戻ります。
節電モードからさらに 60 分放置すると画面に **SLEEP** を表示します。**SLEEP** 表示では **MODE** を押すことで計測画面に戻ります。

コンピュータの設定変更 ［メニュー画面］

MENU

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面へ移行します。計測が停止中であり、センサー信号の入力が無い状態で **MODE** を押すと表示中のメニュー設定を変更できます。

周長切替 ▶ MODE ▶ タイヤ周長入力 ▶ MODE ▶ センサー ID 照合 ▶ MODE ▶ 時刻設定 ▶ MODE ▶ 積算距離手入力 ▶ MODE ▶ 計測単位切替 ▶ MODE ▶ 周長切替

MODE 設定変更（長押し）

※ 変更後は、必ず **MENU** を押し、確定します。
※ 1 分間放置すると計測画面に戻ります。

周長切替……セットされているタイヤ周長（外周サイズ）Ⓐ・Ⓑ を切替えます。2 台の自転車でコンピュータを共有する場合にご使用ください。
MODE で Ⓐ または Ⓑ に切替えます。

タイヤ周長入力……**MODE** で数値が増加し、長押しで桁移動します。
※ タイヤ周長 Ⓑ に入力する場合は、「周長切替え」で Ⓑに切替えてから行ってください。

センサー ID 照合……**MODE** で **ID1** または **ID2** からセンサーを選び、長押しで待機状態に移行します。ID 照合の方法は、「コンピュータの準備 -4」をご覧ください。
※ **ID2** はコンピュータを 2 つ目のセンサーと共用する場合に利用します。**ID1** と **ID2** の識別はコンピュータが自動で行います。

時刻設定……設定方法は、「コンピュータの準備 -5」をご覧ください。

積算距離手入力……コンピュータを再設定する場合、事前に積算距離をメモすることで、再設定後に積算距離を手入力できます。

計測単位切替……**MODE** で **km/h** または **mph** に切替えます。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

電池の交換

コンピュータ

選択データの数値が点滅したら電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR2032）を（＋）側が上面に見えるように挿入します。交換後は「コンピュータの準備」の手順に従い、コンピュータを再設定してください。
※ 電池挿入後は、必ず防水カバーを TOP 側が上面に見えるようにかぶせてください。

センサー

走行速度が点滅したら電池の交換時期です。交換後はマグネットとの位置関係を確認してください。
※ 電池交換後は、再度 ID 照合が必要です。詳しくはメニュー画面「センサー ID 照合」をご覧ください。

CR2032

トラブルシューティング

ブラケットに装着すると MODE が機能しない。
ブラケットとコンピュータの間に異物が詰まっていませんか？
ブラケットを水で洗い流し正しく動作するよう手入れしてください。

センサー受信アイコンが点滅しない。（スピードまたはケイデンス表示が出ない）
（コンピュータをセンサーに近づけて後輪やクランクを回します。センサー受信アイコンが点滅する場合は、異常ではなく電池消耗と考えられます。）
センサー ID 照合は行いましたか？
メニュー画面「センサー ID 照合」に従い、ID 照合を行ってください。

各センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？
（間隔 スピード : 5 mm/ ケイデンス : 3 mm 以内）
マグネットはそれぞれのセンサーゾーンを通過していますか？
マグネット・センサーの位置を調節し直してください。

コンピュータとセンサーの距離は正しいですか？（間隔 20 ～ 100 cm 以内）
センサーの取付け位置を範囲内にしてください。

コンピュータまたはセンサーの電池が消耗していませんか？
特に冬期は電池の能力が低下します。
新しい電池に交換してください。交換後は「電池交換」の手順に従ってください。

全く表示が出ない。
コンピュータの電池が消耗していませんか？
新しい電池に交換してください。交換後は「コンピュータの準備」に従い、再設定を行ってください。

異常な表示が出る。
「コンピュータの準備」の手順に従い、コンピュータを再設定してください。

製品仕様

使用電池……コンピュータ（受信部）：リチウム電池（CR2032）× 1
　　　　　　センサー（送信部）：リチウム電池（CR2032）× 1
電池寿命……コンピュータ：約 1 年（1 日 1 時間使用時、使用環境により異なる）
　　　　　　センサー：約 6 ヶ月（1 日 1 時間使用時、使用環境により異なる）
　　　　　　※気温 20℃でセンサー・コンピュータ間 100 cm に取付けた時の平均値。
制御方式……8- bit 1- chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）
表示方式……液晶表示
検知方式……無接触磁気センサー
送受信距離……20 ～ 100 cm の範囲
タイヤ周長範囲……0100 mm ～ 3999 mm（初期値 A:2096 mm B: 2096 mm ）
使用温度範囲……0 ℃～ 40 ℃（動作保証範囲 : 範囲外は表示の視認性が悪化します）
寸法・重量……コンピュータ：46.5 x 31 x 16 mm / 22 g
　　　　　　センサー：50.5 x 72.5 x 17.7 mm（アーム部を除く）/ 30 g
※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。
※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

標準部品	オプション部品
#160-2790 パーツキット #160-2780 センサー #169-9691 ホイールマグネット #169-9766 ケイデンスマグネット #160-0280 ブラケットバンド #160-2193 ブラケット #166-5150 リチウム電池（CR2032）	#160-2770 ブラケットホルダー

製品保証について

2 年間保証：コンピュータのみ（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は無料修理・交換いたします。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が記述されたレシートまたは領収書を添えて当社宛てに直接お送りください。レシートまたは領収書がない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

［宛先］
株式会社キャットアイ
製品サービス課
〒 546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL　：(06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX　：(06)6719-6033
ホームページ：http://www.cateye.co.jp
E メール　：support@cateye.co.jp